

2020年10月9日

マルチクラウド・ハイブリッドクラウド環境におけるオペレーション品質の向上を実現する「X Managed Platform™」の実証実験を開始

NTTコミュニケーションズ株式会社(以下 NTT Com)は、株式会社フィックスポイント(以下 フィックスポイント)と共同開発を進めるマルチクラウド・ハイブリッドクラウド環境におけるオペレーション品質の向上を実現する次世代運用基盤「X Managed Platform™(クロスマネージドプラットフォーム)」(以下 本プラットフォーム)の実証実験(以下 本実験)を、2020年11月より開始します。本実験の結果を踏まえ、2021年1月より本格提供を開始予定です。

1.背景

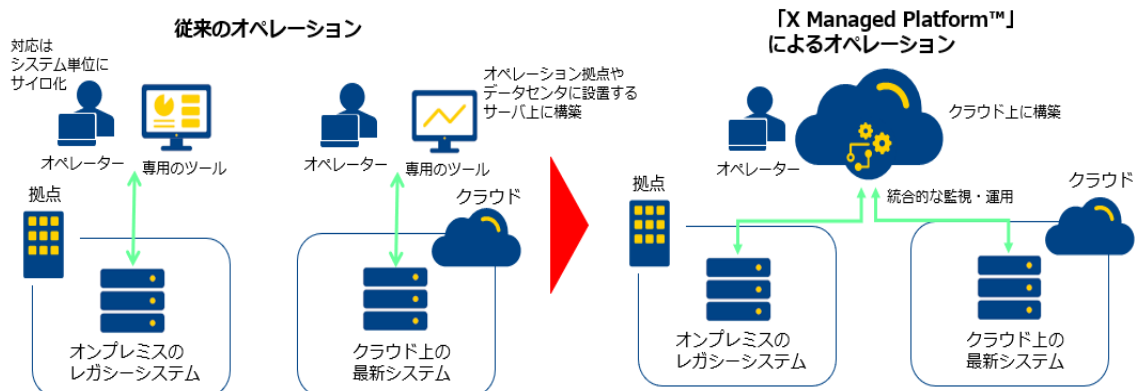
マルチクラウド・ハイブリッドクラウドの導入が進み、企業のシステム環境は今まで以上に複雑化しています。特に監視・運用においては、システム単位で監視・運用ツールが乱立した結果、システム横断のオペレーションが困難となり、トラブル発生時の対応が長時間化するなどの課題に直面している企業が散見されます。

これを解決するため、NTT Com は株式会社フィックスポイントと共同でシステム全体の統合的な運用を実現する本プラットフォームを開発しており、本格提供に向けた本実験を開始します。

2.本プラットフォームの概要と特長

本プラットフォームは、オンプレミスのレガシーなシステムからクラウド上の最新システムまで、幅広いITリソースを統合的に監視・運用するものです。クラウド上に構築されているため拡張性に優れ、従来はシステム単位にサイロ化されていたオペレーションを一元的に行えるため、継続的な品質改善と同時に、オペレーションを柔軟に効率化、自動化することが可能になります。

<提供イメージ>



主な特長は以下の通りです。

(1)統合管理による継続的な品質改善

マルチクラウドやハイブリッドクラウドなど個々のリソースが複雑に絡み合うシステムにおいてネットワークも含めて全体の構成を把握し、一元的に対応することができます。そのため、不具合時の影響範囲や発生原因の特定を素早く実施することができ、トラブル対応の長時間化を防ぐことができます。また、運用状況を総合的に把握できるため、必要に応じて ICT 基盤を強化する等、継続的な改善が可能です。

(2)お客様のビジネス展開に合わせた拡張性の高い運用

本プラットフォームは環境の拡大や縮小が容易なパブリッククラウド上に構築されています。そのため、お客様のビジネス展開に応じ迅速かつ柔軟に拡張させることが可能です。

(3)運用時の人為的なオペレーションミスを抑制

故障発生時の通知や原因の一次切り分けなど頻度の高いオペレーション作業を自動化することができます。そのため、手作業に比べ人為的なオペレーションミスを抑制することが可能です。

3.本実験の概要

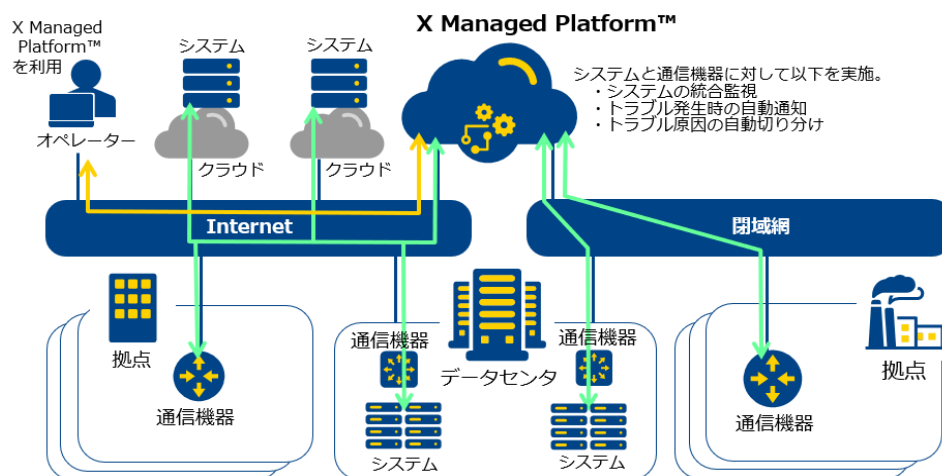
本実験では、本プラットフォームを用いてマルチクラウド・ハイブリッドクラウド環境に構築された商用システムと通信機器を NTT Com のオペレーターが運用することで、本プラットフォームの実用性と対応時間の評価を行います。

(1)期間：2020年11月～2020年12月

(2)実験項目

- ・複数システムの統合監視
- ・トラブル発生時の自動通知
- ・トラブル原因の自動切り分け
- ・トラブル対応時間の評価

<本実験のイメージ>



4.出展情報

2020年10月14日～16日に開催する「NTT Communications Digital Forum2020」にて、本システムを紹介予定です。ログイン後の画面にて「Smart Data Platform」の展示ゾーンをご覧ください。

会期：2020年10月14日（水）、15日（木）、16日（金）9:30～18:00

※講演・セミナーおよび展示は24時間いつでもご覧いただけます。

※社員とのインタラクティブなコミュニケーションは上記時間帯で可能です。

参加費用：無料

参加方法：事前登録が必要です。公式 Web サイトよりお申し込みください。

公式 Web サイト <https://www.ntt.com/business/go-event>

5.今後の展開

本実験の結果を踏まえ、本プラットフォームの継続的な改善に取り組むとともに、2021年1月からの本格提供開始に向けた検討を進めます。これにより、複雑化するお客さまのシステム環境におけるオペレーション品質のさらなる向上に貢献します。